

平成30年度第1回あま市総合教育会議議事録要旨

平成30年9月28日（金）
午後2時から午後4時まで
あま市美和総合福祉センター
すみれの里 2階集会場

1 出席者等

出席者等（委員）	6名
（事務局）	10名
（傍聴者）	2名

2 議題

- （1）あま市内の小中学校のエアコン導入について
- （2）小中学校での暑さ対策におけるガイドラインについて
- （3）その他

【あま市内の小中学校のエアコン導入について】

（説明要旨）

- 1ページ。菅官房長官が、全国各地で記録的な猛暑が続いていることを受けて、「児童生徒の安全、健康を守るための猛暑対策は緊急の課題だ。学校へのクーラー設置と支援していく必要は当然ある」と指摘し、「来年のこの時期に間に合うように責任を持って対応したい」と語った。
 - 林文部科学大臣は、夏休みの延長について、「各学校設置者に積極的な対応を促進するため通知を発信する。」と説明。クーラー設置に関しては、「予算の確保に努め、空調設備が設置されていない学校は優先的に改善に取り組みたい」と述べた。
 - 政府は、「来夏、7月ごろには稼働できる状態でなければならない」との認識で、2018年度の第2次補正予算を年末までに編成することで調整することになりました。
 - 2ページ。自治体の設置状況(1)公立学校施設の空調設置状況、全国平均は49.6%、愛知県は35.7%(2)平成31年度建築計画では、26市町、583校が今回建築設計を計上している。
- （参考）普通教室のエアコン設置率の100%の自治体（市のみ）

名古屋市、春日井市、小牧市、日進市、北名古屋市、みよし市

- あま市の設置計画(1)設置場所、市内17小中学校の全普通教室、特別教室を予定している。
- 3ページ。学校施設整備計画工程表(イメージ)により、通常の工程表と、来年7月稼働の前倒しのスケジュールを説明。
- 4ページ。夏期における各小中学校の室温を調査した結果を説明。
 - 計測期間：7月17日から20日まで、9月4日から7日まで
 - 計測教室：普通教室2部屋、最上階、最下階
 - 計測場所：教室内南側前方の壁面
 - 計測時間：1日2回(午前8時30分ごろ、午後0時30分ごろ)
 - 計測方法：温度計による目測、小数点以下は四捨五入
- 6ページ。平成25年度から平成30年度までの7月1日から9月9日の気温データです。名古屋地方気象台の計測の結果となります。35度以上の日数と、最高平均気温となります。25年が26日、33.2度、26年が8日、31.6度、27年が16日、31.2度、28年が9日、32.6度、29年が3日、32.3度、30年が36日、34.3度でした。35度以上の日は、平成30年度は36日と極端に多く、最高平均気温が平年より2度以上ほど高いデータとなっています。今年の夏は近年にない災害レベルの猛暑ということがわかります。

【主な意見・質疑等】

(意見要旨)

- 前倒しということで、国の方も補正予算を準備していただいているが、当然、国が全額出していただけるわけではないと思います。予算を一点集中的に集めて、やるしかないと思いますので、いろいろ工夫していただきたいと思います。
- 今年の異常気象と豊田市の事件があって、入れていただけるという方向で腹を固めていただいている。国の予算措置が、この時しかないならば、なんとかしても設置していただきたい。
- 前倒しの計画の通りにやるには、人の力も集中しないと出来ないと思います。学校全体をみれば、教室が多くあるため、休日や夜間の工事が必要となる。こちらの事務方や先生方をお願いするなりして、施錠の対応など人の力の集中が必要だと思います。
- 授業に影響する部分の工事と、影響しない部分の工事がある。壁に穴を開ける工事では、大きな音がして授業が出来なくなる。また、室内機の設置はそれほど音が出ないので、部屋に子供がいなければ平日でも設置することもできます。

(回答要旨)

○エアコン設置については、この設計すら危ないといった状況です。全国規模ですので、設計会社すら手を上げる所が無いのが現実です。今のところ、5中学校で1つの設計、小学校は各旧町で、全部で4つの設計の入札をしましたが結果的には、4つの内1つが全部辞退でした。

工事の前倒しという計画もありますが、この設計の状況より、工事についても辞退が必ず出てくるだろうと想定しています。

○全学校が同時にできる形作りが一番望ましいと思います。来年の夏にはエアコンが稼働できるようにしたいと思っていますが、この場で必ず出来ますと申すことは出来ないのが現実であります。

○土日だけでは到底無理ですので、学校側に協力していただいて、平日の昼間も、エアコンの設置をさせていただける対策づくりを、お願いしたいと思っています。

○間違いなく、前倒しのスケジュールで行きたいです。しかし、先ほどの話で設計すらも厳しい状況でありましたので、工事の方も視野に入れながらも、まずは動かないことには難しいです。

(質問要旨)

○電気で入れるかガスで入れるか、これから設計になってくと思いますが、大元のキュービクルの容量の問題があって、学校によっては根本的にキュービクルから取り替えて、大きくする必要もあり、工事日数が掛かってくるかと思います。

(回答要旨)

○あま市は全校ではないですが、キュービクルを先行して交換しております。電気にするところは、余分に設ける形になると思っています。

(質問要旨)

○エアコンは電気、ガスの混合になるのでしょうか。ガスの学校もあれば、電気の学校もあるのでしょうか。

○ランニングコストで考えると、ガスの方が安いのではないかと思います。

○電気の場合は、最大使用量が年間の使用料になってくるので、暑い時に上げてしまうと、上げた電気代で一年間の使用料がつくので高くなる。

ガスだと使った分なので、夏使っても使っていない時期は0に近い状況になってくる。年間を通じて考えると、そこがネックになってくる。

○エアコンですから暖房もあるので、夏と冬両方使い、冬の方が結構使う機会があると思います。エアコンは、学校だと6月の下旬ぐらいから1ヶ月ぐらいは使うでしょうし、9月に入って9月の半月以上は使うと思います。

(回答要旨)

- ガスでも電気は使いますのでその辺のところを見ながら行っていかなければ、ならないなと思います。今のところだとガスの方が多くなっていると思います。
- 都市ガスが通っていない所がある。そういったところは電力かLPガスも検討していこうと思っています。全部が全部、統一的に電気、ガスでやるということではないですが、既にガス管が通っている学校もありますので、そういったところはガスで行った方が安いと思われます。
- 電気のエアコンでも、電気をあまり使用しないエアコンもありますので。
- 実際には、冬の方がエアコンを使うだろうと推測しています。

(意見要旨)

- 実際にエアコンを入れた場合、教室の使い方、夏休みの使い方の方法論もこれから考えていきたいと思っています。
- ガイドラインを一度決めていただいて、対策を練った方が良いと思います。エアコンを付けたのだから、学校に来ていただいて、勉強をしていただく、そういった形作りでも良いのではと極論を申し上げると私の意見はそうあります。
- エアコンが付けば、8月中に行事等を組み込むことが出来るので、実際に授業や特別な行事を入れ込む学校も出てくるかもしれません。
- 夏休みのあり方については、一週間ぐらいは前倒しが出来るだろうと考えている。学校管理規則を上手に改善しながら、夏休みを短くして、冬休みを長くするとか、教育委員会の中でいろんなご意見をいただいて、先進事例を研究していきたいと思っています。
- 中学校全部入っても、高等学校行くと無いところもあるかも知れないです。
- 今回の県の方の補正も、もっとエアコンを入れるかと思ったが予想よりも少なかった。今回は特別支援しか入れてないので、あんまり県も真剣に考えてない感じがします。
- 子供の成長の中で、エアコンは役に立たない、むしろ害になるという考え方ををお持ちの方がまだ社会には多い。しかし、今回の暑さはそんなこと度外視、そういうことがやっと認識されたと思います。
- 子供達の体温は私たち大人よりも高いので、教室に入ってくると一斉に教室

温度が上がる。とても勉強する状況ではないのです。ある程度、エアコンでクールダウンできれば、落ち着いて勉強が出来るので、教育環境としてエアコンは欠かせないと思います。

- 各家庭にエアコンが入っているかどうかは、他の自治体で調べたところがあり、そこは20%が入っていない。その自治体は、学校にエアコン入れてもらおうと困ると、実際に入れてないところもあります。
- 子ども部屋へのエアコンは入っていないところも多いでしょう。子ども部屋があるかどうかはわかりませんが。
- 全国で現状6割の設置とあるが、愛知県の設置率35.7%というのが、全然いっていない。愛知県の中での基準ではなくて、全国の基準を見ながら、やっていく必要性はある。
- 愛知県は気温が高いです。本当なら愛知県がエアコンの設置についてリードすべきです。お金がない県でも結構入っています。

(質問要旨)

- 12月に国の方の補助金の交付が決定されるのという予想ですが、こういう補助金というのは、申請すれば付くものではないですよ。
- 今回のエアコンについては、設計会社を見つけることが出来なければ、交付の決定までいたらないこととなりますか。

(回答要旨)

- 今回のエアコンの件は、二次補正は決定だと思っています。8月の頭までに計画書を出す必要があります、それに間に合わせて市も提出しましたので、必ず付くと思います。ただし、起債や対象外経費には付かないので、3分の1全てが国から降りてくることということはないです。

(質問要旨)

- 国の方針として、今年度が出るけど、それ以降は出さんという方針なのでしょうか。
- 一斉に全ての市町村がエアコン設置をすると、パンク状態というのか、設計会社や、工事をする会社と、契約がきちんと結べず工事が出来ないです。ある程度、出来る見通しがあるということですか。

(回答要旨)

- 付かないことは無いと思います。計画を出さない自治体も多分あるでしょう。

ただし、今回で全国的に網羅できてしまうのではないかと思います。
○それが難しいところです。

(質問要旨)

○予算はあっても、工事に入れないところが実際出てくるかもしれないのですが、国の方から助けが来ないですか、お金の予算は付けていただけるけど人の方はないでしょうか。

(回答要旨)

○工事に入れないところは、あると思います。間違いなく。
○国から、お金に人がついて来れば良いですがそれはないです。

(質問要旨)

○既に設置している名古屋は設計会社がもう経験しているので、そこをお願いしたりとか、助けていただいたり、連携というか助けとかそういうのはないですか。
○実際に動くところがあって。要領もわかっているんで、段取りも早いような気がするのですけど。

(回答要旨)

○例えばですが、設計会社に入札参加を依頼する時に、県内でだいたい設計できるところは一緒なので、そこがもうパンク状態です。
○設計会社も、図面も書けないし設計も出来ないというのが、今の状況と思われます。今回の3つは入札で決まったが、1つは全て辞退ということになってしまった。それが、昨日今日までの状況です。

(質問要旨)

○31年の7月からエアコン稼働でなく夏休み終わってから、稼働としておけば、通常ぐらいのパターンの計画で設置が可能ですか。

(回答要旨)

○31年の夏を超えてからとなれば可能です、31年の夏に間に合わせようとすれば難しいです。
○この問題は、2年に渡って付ければ良いというものではありません。今年の

30年度の暑さは、2年後に対応するとかと言っておられませんので、一年1発で何もかもやらないことには多分難しいだろうと思います。

また、既にエアコンを設置したところは、中学校から設置しております。

よく「低学年から付けるのが当たり前だろ」と意見がありますが、低学年だけ付けますと、高学年も、ということになって、コストの面が高くなってしまう。また、中学校からというのは、小学校から先に付けると、中学校に行くとき暑いということが出てくる。今回の場合は、どちらが先かと言っれない、という状況です。

(意見要旨)

○実施計画の予算を新聞にあげた段階で、ほとんどの親御さんは、来年の夏までにエアコンが入ると思われている。最後まで読めば、まだ設計の予算が付けただけと書いてあるのですが、タイトルや見出しをみると、「あま市もエアコン」と書いてあるので。

○家庭に入れるのと同じような感覚で、エアコンを買ってきて、付ければエアコンが入ると思っている。もし、入らないと来年の夏、苦情が来ると思われる。実際に、人がいないとか、大変さがある程度どこかで言っていけないといけないのでは。

(回答要旨)

○我々は、前倒しという言葉は一切使っていません。だが、そういった観点はあっている。9月に実施計画、設計の予算を乗せたというのは、本来は、上の通常スケジュールのパターンです。

○例えば、ここで「必ず夏までにやります」と言っても、自信はありません。昨日の27日の設計の入札が一つのバロメーターでありまして、結果的には、ほとんど辞退で状況は、やっぱり厳しいなというのが実感です。

○エアコンを入れることは、教職員研修会でも、家庭とは違います、先生方が子供達に説明してくださいと注釈をいれました。

○先生方を通じて保護者のみなさんに、PTAの会で校長先生から、実際に入れるのは難しいと説明をしていく必要がある。

(意見要旨)

○ほぼ80%の家がエアコンが付いている、学校との格差が大きい。確実に、今の子供は汗腺が少なくなっていると思います。汗をかかないので、体温調整がなかなか出来ない子供達が増えていると思います。昔では、我慢できた

のが出来なくなっているのは事実だと思います。

○エアコンを設置したら、あとは使い方です。28度の設定だけど、子供達は体温が高いから、体育の時は、時間中冷やしといて、子供達が帰って来たら少しでも体調の調整が出来るようにするのが必要です。

○エアコンの使い方とか、子供達の健康を保てるかを含めて教育委員会は、検討や研究をしながら、1年かけて、ガイドラインも作って、やっていく必要があるかと思います。また、コスト面も考えないと、光熱水費が掛かりますから。

○9月以降、校長や市長からのアドバイスを貰って、今ある学校の、エアコンがある部屋を冷したり、日中使っていない児童クラブを冷やしておいて、そこへ緊急避難場所として使っていくなどを考えている。また、来年7月にエアコンの稼働が出来ないという場合も同様に考えておく必要がある。

○教育委員会は、コスト面も考えて学校に示しながら進めなければいけないし、子供達にもそういった消費の部分も教えていく必要があると思っています。

(質問要旨)

○県内の市町は全ての普通教室に入れるのか。

(回答要旨)

○普通教室に入れないところもまだある。一切入れないところもある。

(意見要旨)

○先ほど私が言ったように、入れるだけでなく、子どもの健康体力を考えて今まで入れていないところも結構多いです。

○逆に、入るから良いじゃないですか。洋式トイレはまだ、30年前から言っているが徹底されていない。入っていないが、子供達の足腰は弱くなってきている。

○正にトイレがそれですよ、家庭での洋式が増えたのもありますが、足腰が弱くなってきています、体操すわりが出来ない。

○どこの基準から見るかによって、子供達の成長がいか悪いかは分かりますが、私たちの若い頃の基準から見れば、身長とか体格とかよくなっているが運動能力が下がっている。

○時代が変わっている、その中で判断していかないといけない。

抵抗する気はないのでぜひ、入れていただきたいと思っています。

【小中学校での暑さ対策におけるガイドラインについて】

(説明要旨)

○7ページ。教育委員会では臨時教育委員会、臨時校長会を開催し、暑さに対する児童・生徒の健康管理について緊急的に対策をとるよう周知し、9月3日付けで、保護者に「暑さに対する児童生徒の健康管理について」のチラシを発行しました。

○暑さに対する児童生徒、教職員への健康管理について

1 8月後半の出校日について

- ・短縮日程を検討する。水分の補給をこまめに行わせ、授業中の水分補給も認める。

2 夏季休業中および9月の部活動について

- ・事前に健康が心配される場合は、活動の中止について検討する。早朝練習か午後練習のどちらかにすることも検討する。練習活動では、休憩・給水タイムを適切にとる。気温・室温等を定期的に計測し、高温の場合は原則活動を中止する。

3 9月の学校生活について

- ・空調のきく特別教室の活用を図る。水分の補給を徹底、授業中の水分補給も認める。小学校では、気温が35度を超える日は外遊びを中止する。保護者の判断で、スポーツドリンク、体調管理に必要な保冷具等持たせる。体操服での登校、教科書等の持ち帰りなど、体への負担の軽減を図る。

全ての学校で統一して実施するように発信しました。

4 運動会・学校祭について

- ・短縮日程を検討する。児童生徒席にテントを設置する。休憩・給水の時間をとり、体調管理を図る。屋外では、帽子の着用、練習の短縮や中止、グラウンド使用中止、総練習を行わないことも考えられる。

5 エアコン設置計画について

- ・エアコンの設置に向けて、計画を策定している。今後、市長部局とも調整していく。

6 保護者文書

- ・市教育委員会から、9月冒頭に、保護者向け文書を出す。

以上が臨時校長会の内容でございます。

○9ページ。保護者への学校における暑さ対策の周知として、「暑さに対する児童生徒の健康管理について」のチラシを発行した、暑さに対する生徒児童の健康管理について、学校では夏休みが終わり授業が平常どおり始まり、暑い日が続くことが予想されるので、ご理解・ご協力をいただきたいといった内容です。

【主な意見・質疑等】

(意見・質問要旨)

- 水分補給ということが何箇所か出てきます。実際に子供達も水筒を持って登校している姿は日常的に見られるのですが、小さい子も体から見ると大きな水筒を持って朝行く姿を見ますので、もう少しなんとかならないのかと思います。教育長に言っておいたのが、製氷機ぐらい入れたらどうですかと話しておきました。それから、体育館はエアコンがありませんので、大きな業務用扇風機で風を動かしても良いのではと思っています。扇風機は、災害で避難所になっても使えるので、通常は学校で使って、実際は避難所対策といった形で設置してもいいのかなと思います。

(回答要旨)

- 業務用の扇風機は、今年、美和中学校と甚目寺中学校に、暑さ対策で5台6台設置しました。
- 早速検討したところ、製氷機につきましては、物自体はそれほど高くはないのですが、配管工事の費用が掛かるとのことです。

(意見要旨)

- 製氷機は、保健室の小さな冷蔵庫のものでは、1回使うと無くなっちゃう。沢山作れるものがあれば、本当に体を冷やすのにも良いですし、飲むのでもいいですし、いろんなところで使えます。中学校だと部活でアイシングを、今はよくやりますので必要かなと思います。

(質問要旨)

- プールも暑すぎて入れないというニュースが出ました。プールの授業とか夏休みの小学校のプール出校ということで毎年3日から5日ぐらいやっていましたが、プールのためだけに登下校するだけでも熱中症の問題がある。プールの授業とか、夏休みのプール出校とか、どういう様子なのか聞かせていただきたい。

(回答要旨)

- 今年の夏は、暑くて登下校の際にも熱中症の心配があるということで、プール出校を元々無くした学校もあります。今までは8月に入ってから3校、七宝小、美和小、甚目寺南小で、2週間ほどプールを開放しました。今年は夏休みに入って直ぐ3校共にやりました。昨年度の倍以上、かなりの人数の子供達が利用してくれました。

○ただし、この暑さでやって大丈夫だったかと言うような、お言葉もいただいておりますので、来年以降はそういったことも含めて考えていきたい。

(質問要旨)

○暑さで止めたところもありますが、暑さで水が生温くて、入ると熱中症になるということは、あま市の場合では無かったですか。

(回答要旨)

○ガイドラインもさることながら、登下校上での心配もあるということで、校長の判断で実際にプールの出校を止めたところがあります。

(意見要旨)

○教育委員会から、このガイドラインが出ている訳ですが、8月後半、9月部活・9月の学校生活、主に運動会も含めてありますので、できれば6月の後半からの暑さ対策ということも入れていただき、もう一度検討していただければ良いのかなと思います。

○熱中症の関係でいうと、気温だけでなく6月は湿度が高いので蒸し暑く感じる。エアコンですと除湿ができるということで、教室環境がかなり良くなると思います。

○冷えた体で外に出た時のギャップかなりかなり重い。そういうのもエアコン対策の中には必要かと思います。

○設定温度については、ある程度目安がありますが、先生によって判断が分かれることがあります。そもそも、クラスには必要なく、職員室の教頭がスイッチを入れる仕組みで教室ではコントロール出来ないようにする。

○エアコンを、どういう風に設置すべきかは、業者さんでは判らないので、いろんな先生に要望を聞いて、学校の設置条件というのを決めていく必要があります。

○今回の調査でも判ったように、3階と1階でも学校によっては4から5度と違う。上の方が暑い、場所によっても暑い。また夏だとコンクリートの壁が朝から暑い。

○もう一つは熱中症対策の、気温と湿度とを一体に計れるものが各校には1個ある。そういったものを参考にしながら、注意報とか、熱中症警報が出た時に事故があると責任を問われると思いますので、校長がリーダーシップを発揮して、部活を一斉に止めて、まずは帰らせる必要がある。

○豊田の事件でも「やれると思う現場」と、ニュース等を見てて、なんで行か

せるのだろうというところのギャップがあると思います。

- これまでは、気象庁の発表が、徹底されていなかったと思います。常に、今は、新聞やテレビや携帯に真っ赤に出ています。まだ、その辺の意識が、学校に浸透していない。
- 現場の先生方や保護者や地域の皆さん、市部局と連携して、教育委員会は、学校に対して指導や助言をこれからしていいけないと思います。
- 台風なんかの警報もそうですが、案外現場というのはそういう情報が入ってこないです。特に、教室にいる先生方は警報が出たといっても、授業をやっているとそういうことが入ってこない。愛知県、あま市の方には、そういった警報が出た、ということを現場に知らせる仕組みも必要ではないかと思います。
- 今年の猛暑については、自然災害ととらえれば、臨時休校も今後は出さなければいけない、という状況も出てくると思います。暴風警報と同様に。ただ、ネックは給食です、すぐに対応できないということが、難しいと思います。

3 その他

「あま市コミュニティースクールの実施に向けて」について
(説明要旨)

- 参考資料、「コミュニティースクールの実施に向けて、市民活動センターができること」より、説明をする。
- 本年度より、学校と学校教育課、生涯学習課において、連携を図りながら進めている学校運営協議会、コミュニティースクールに関して、市長部局の市民協働を担当している企画政策課より、協力をさせていただきと考えている。市民活動の拠点施設でもある、市民活動センターをご紹介します。
- 市民活動センターが、ご協力できる可能性については、1枚目にまとめさせていただいた。今後、どのような連携を図っていくか協議していく。その結果次第では内容も変更されていく可能性がある。

○「市民活動センターについて」

市民活動センターは現在、あま市における市民活動と市民協働の先駆者的な存在であります「NPO法人ほっとネットみわ」に指定管理者として管理をお願いしている。直営での運営となっております。

- ・市民活動センターは、平成26年に発足して以来、市民の持つ活動力を集約してまいりました。現在、市民活動団体135団体が登録している状

況です。団体と団体、人と人を繋いでいく市民活動センターの持つ力、人材バンクや情報発信力というのを学校現場、学校運営協議会、コミュニティースクールを始め様々な場面で、活用していただくべく、これから本格的に他セクションと調整を図っていきたいと思っています。